

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成 19 年 5 月 24 日 (2007.5.24)

【公開番号】特開 2005-296462 (P2005-296462A)
 【公開日】平成 17 年 10 月 27 日 (2005.10.27)
 【年通号数】公開・登録公報 2005-042
 【出願番号】特願 2004-119446 (P2004-119446)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 4 C

A 6 3 F 7/02 3 4 6 D

A 6 3 F 7/02 3 5 1 A

A 6 3 F 5/04 5 1 2 M

A 6 3 F 5/04 5 1 6 C

【手続補正書】
 【提出日】平成 19 年 4 月 3 日 (2007.4.3)
 【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1】

バラ積み状態で球体 (B) を保留する保留ボウル (122)、前記保留ボウルから球体を受け入れ、1 つずつ送り出す送り出し装置 (120)、前記送り出し装置から送り出された球体を列にして上方に案内する案内部 (126)、前記案内部の出口に配置した検出部 (128)、前記検出部の検出に基づいて前記送り出し装置を停止する制御部 (130)、とを含む遊技機の球体送り出し装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

この目的を達成するため、請求項 1 の発明にかかる遊技機の球体送り出し装置は次のように構成されている。

バラ積み状態で球体を保留する保留ボウル、前記保留ボウルから球体を受け入れ、1 つずつ送り出す送り出し装置、前記送り出し装置から送り出された球体を列にして上方に案内する案内部、前記案内部の出口に配置した検出部、前記検出部の検出に基づいて前記送り出し装置を停止する制御部、とを含む遊技機の球体送り出し装置である。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0022

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0022】

次に、図 2 から図 8 を参照して送り出し部 124 を説明する。

送り出し部 1 2 4 は、分離部 1 4 2、押出部 1 4 4、駆動部 1 4 6 及び制動部 1 4 8 (図 9 参照)を含んでいる。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 8】

分離ディスク 1 5 2 の裏面にも上押出条 1 7 0 が下押出条 1 6 8 に相対して形成されている。

これら分離ディスク 1 5 2 と押出ディスク 1 6 4 は、ボールベアリング 1 7 2 を挟んで一体化され、送出ディスク 1 7 4 を構成している。

したがって、下押出条 1 6 8、上押出条 1 7 0、分離ディスク 1 5 2 の下面及び押出ディスク 1 6 4 上面によって囲まれ、周面が開口した保持空間 1 7 6 (図 7 参照)が形成されている。